

<金標準、FRB 議長の解任否定や米中貿易協議緩和・・・>



(出所：オアシス)

ベッセント財務長官や JM モルガン CEO などがトランプ大統領に進言し、パウエル FRB 議長の解任発言を否定している。特にパウエル FRB 議長の解任発言を受け取った市場は、米国売りへ移行し、債券売り：ドル売り：株売りの動きを見せ、時間外取引で逃避先の金価格はドル建てで一時 3500 ドルを超える動きを見せたが、イースター明けのトランプ大統領の否定発言から一転して 3300 ドルを割り込む値動きを見せるなど、短時間で買われ過ぎた修正を見せている。特に世界最大の金連動型上場投資信託 (ETF) である「SPDR ゴールド・シェア」は 22 日に 12 億 7000 万ドル (約 1820 億円) の資金流出を記録し一日当たりの流出額としては少なくとも過去 1 年で最大を記録している。また中国は米国に対する 125% の追加関税から一部の商品を除く事を検討していると報じられ、関税リスクも後退し逃避先の金の妙味が後退を示すなど、目先は修正の動きになると思え、金標準先物でも 15000 円に向けた値動きには注意が必要と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り下げ、シグナルは上昇している。RCI では短期が下げながら、長期は切り上げている。特に日足が 10 日移動平均線を試す動きを見せており、下回る動きを見せると 15000 円へ向けた値動きに備えるのが妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,455,000 円(2025 年 4 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 66,000 円(2025 年 4 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>